

●第 28 回里山講演会 9 月 6 日(土)

里山講演会が京田辺市中部住民センター(せせらぎ)で開会されて、「子どもと生きもの」と題して講演されました。

小林さんは同志社大学時代に里山の会員として、河川レンジャーのグループレンジャーとして多くの仲間を誘って山城地域の歴史や環境を調べ歩き、京都大学院では世界各地と日本国内の竹に係る研究に携わられて、今回そのようなことを中心にお話をいただきました。小学生時代は恩師からしっかり自然を学び得て、その基礎の元今日に至った経過を前半で強調され、父親の肩車で背の高い木のカブトムシ取りをした経験が深い印象に残りました。そして虫への興味をはなれ進学勉強に挑み高校から大学へ成長する中で、虫調べの経験を持って今日竹の研究者として活動をしているとのことでした。竹に関する学習の中で竹の花は 120 年前後に長い年月の幅をもって花を咲かせていることが分かってきたとのことでした。(講演内容は後日のニュースでお知らせ致します)

続く中学生 2 人の観察記録発表がありました。4 か月前の地域説明会

では発音等が聞き取りにくいと厳しい指摘をいただきましたが、今回はそれぞれパートごとの課題や問題点を整理され、それへの対応策が丁寧に説明されて課題がコレだと調査観察の中で得た結果に結びつけた内容で、聞き手にわかりやすい筋立てた発表でした。僅か数ヶ月でここまで上達するとは想像もできないほどのすばらしい成長でした。多くの課題や問題点(集客対応・宣伝方法・コラボ対

応・準備期間・企画内容)等の振り返りが明かになる取組でしたが、中学生たちのとても大きな成果を得た講演会でした。出席者のお母さんから次のような感想が寄せられたので一部分を紹介させていただきます。

ものを感じる目、色んな事にすぐ影響を受けていると仰っていたのが印象的でした。いつも、素敵な機会を設けて下さって有難うございます。子育て世代の方の参加が少なく、これはもったいないぞ！と感じました。お子さん向けのお話会ではないかもしれませんが、子育て中のパパさんママさん、もし次回あるようでしたら、絶対にオススメです！勤務中でありましたが駆けつけてこられたのが中西アサ子さんです。8 月 31 日に河川レンジャーの最終テストのプレゼンテーションをクリアしてレンジャーになり、その時のプレゼン、「川と私」を見せていただき、今後このようにして活動をしますとの決意を披露されました。

●城陽市教育委員会の魚採り会場の下見実施 9 月 8 日(月)

日頃はスポーツに親しんでいる子ども達に、故郷の木津川での魚採りを通して自然や川の変化を学ぶ場として、城陽市教育委員会の協力要請があり協力いたします。受付集合地点から現地魚とりの玉水浜までの通路約 2 km の除草は 9 月 3 日の午後に里山の会の太田さんと森島さん、播川さん除草作業を行っていただきました。この日の川の様子は今まで(約 20 年間)で水が流れているところが狭くなっていて、昨年将棋頭型竹蛇籠を設置していた水辺はすっかり陸地になって木津川の特徴の砂浜が無く石ころ河原でタデ植物が 40 cm の高さに成長し繁茂していました。城陽市教育委員会の 募集の結果、総参加はスタッフを含めて 50 人余の取組になる見通しです。スタッフ



の集合は8時で現場の安全確保を中心に準備を行い、9時30分に開会挨拶や諸注意のあと9時40分から第1回目の魚取、休憩と水分補給のあと二回目の魚採りそして11時から「川流れ体験」を保護者の協力を得て実施して12時前に木津川の説明のあと、全員で現地の後始末をして現地解散の予定です。スタッフはライフジャケットを乾燥させ借用先に返納して15:30分頃に完全解散の予定を確認して下見を終了しました。前日準備を含めて、当日は朝早くから御世話になりますがご協力をお願いいたします。今年の夏は水難事故が川や海で多発していると報道されていますので何よりも安全に終了できますよう熱中症対策を含めて万全を尽くしましょう。

●子どもカヌー体験 9月15日(月) 笠置浜にて

日本遊びカヌー普及協会の藤田カヌーの絶大な協力を得て実行いたします。9月11日現在の参加予定は一人乗り14艇で二人乗りは4艇で現在わずかに参加に余裕がありますので希望者は至急申し込んでください。

●山城ごちそうフェスタ 9月21日(日) 城陽市の五里五里の丘で開催

里山の会は子ども達のお楽しみである「松かさツリー作り」と「竹エンピツ作り」、「竹コマまわし工作」などで参加出展いたします。準備できる数量に限界がありますので早い目のお越しをおすすめします。



●第3回きょうと☆いきものフェス 9月27・28日 京都府植物園



里山の会は中学生の調査活動の発表で27日(土)15:00から活動紹介の予定です。応援と拝聴のために駆けつけてください。植物園温室への通路正面で竹エンピツ工作と松かさツリー工作と今年初めてのコマまわし工作などでの参加型工作を行います。同時に展示物ポスターでの活動紹介も計画しております。そしてイベント最大の取組は竹蛇籠製作講習会も例年通り計画しています。福井県の九頭竜川や高槻の芥川の皆さんから参加したいと希望が寄せられています。伝統的河川工法への技術伝承へ興味が普及してきているのではないのでしょうか。9月10日には講習会で使用する真竹が国交省のご協力で50本木津川玉水広場に松見建設が届けていただきました。来週、再来週に竹割りと節取り作業がありますので、ご協力をお願いします。

●木津川希少種植生調査管理業務の除草作業で前期作業分が完成したと太田・森島両理事から報告

今年の夏は猛烈な暑さが続く屋外作業は最悪の季節でした。その影響かもしれませんが植物の生育スピードは速く、太さも高さも繁茂状況も異常な状態でした。通常に刈り取れるものが半分程度の刈り取り幅に狭めなければ(手間をかける・能率を落とす)ならない作業の上、暑さが加わるので体力の限界を感じる連続でした。昨年までご協力をいただいていた皆さんも加齢と異常な暑さのために自重されなければならない事態も多くなり、一部の方に大きな負担になる取り組みとなりました。劣悪な条件のもとでご奮闘くださったお二人に心からお礼をいしましょう。



会誌59号原稿募集 締切は10月10日(金)

会誌59号の原稿を募集しています。ぜひとも多くの原稿を提供ください。今年は雨の降らない時期や春があっという間に過ぎ、桜の満開時期が長く続きました。そして寝苦しい暑い夏の連続など季節に悩まされてきました。きっと皆さまは何か工夫をされたのではないのでしょうか。感じられたところを一筆気楽にお寄せ下さい。小さな小さな出来事や気付きでも大歓迎です。30周年目前ですのでぜひともお願いいたします。盛り上がりをお願いします。